

けんみんい しき ちょうさおよ がいこくじんせいかつじったいちょうさ
県民意識調査及び外国人生活実態調査

がい よう ばん
概 要 版

—グローバル・コミュニティみえをめざして—

みえけん こと ぶんかてき ぶんかてき ぶんかてき ぶんかてき ぶんかてき ぶんかてき ぶんかてき ぶんかてき ぶんかてき
三重県では、異なる国籍・文化的背景をもった人々が、同じ地域の一員として
て ぞんけい あいあんしん いていききと暮らせる地域社会づくりを進めています。



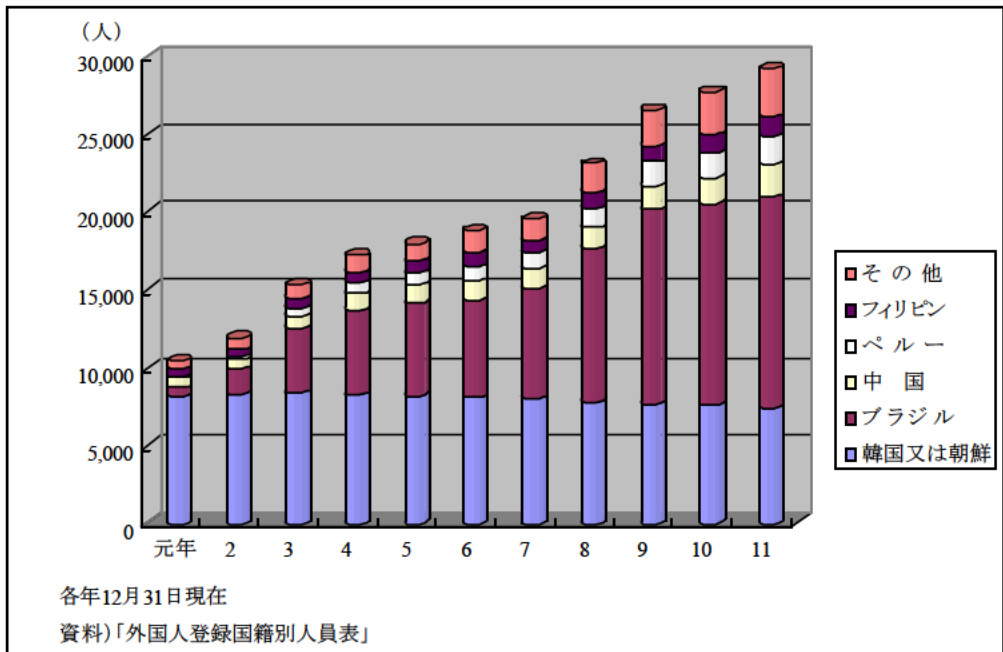
へいせい ねん がつ
平成12年3月

みえけんせいかつぶこくさいか
三重県生活部国際課

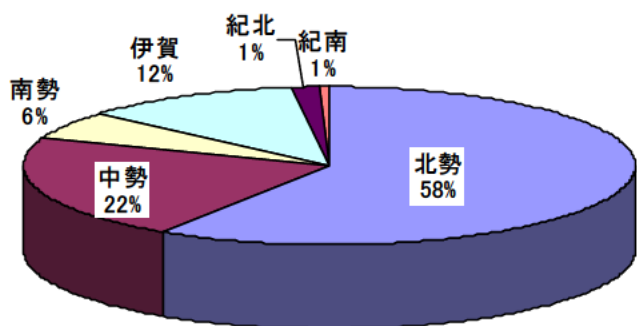
三重県における在住外国人数

三重県では、平成2年の出入国管理及び難民認定法の改正以降、在住外国人数が増加しはじめ、平成11年12月末における外国人登録者数は29,199人となっています。その内、46.6%はブラジル人が占めており、関東、関西など他地域とは異なる構成となっています。また、地方別にみると、北勢地方に約6割が集中しています。

外国人登録者数



地方別登録者数の内訳



ちょうさ がいよう 調査の概要

三重県は、平成8年3月に策定しました「三重県国際化推進プラン」及び「総合計画」の中で、「外国人に開かれた地域社会の形成」を施策の柱の1つと位置づけ、異なる国籍・文化的背景をもった人々が、同じ地域の一員として尊敬しあい安心していきいきと暮らせる地域社会づくりを進めています。

三重県が外国人に開かれた地域社会の形成を目指すにあたり、在住外国人の生活、意識と日本人住民の意識を把握し、今後の施策づくりの基礎資料とするために、在住外国人と日本人住民を対象とした調査を実施いたしました。この概要版は、三重県における共生社会の現状を広く理解いただくために、調査結果をわかりやすくとりまとめたものです。

ちょうさがいよう 調査概要

	きょうせいしゃかむじつげん む 共生社会実現に向けての けんみんいしきちょうさ 県民意識調査	ざいじゆうがいくじんせいかつじつたいちようさ 在住外国人生活実態調査
ちょうさじっしじき 調査実施時期	へいせい ねん がつ がつ 平成 11年 11月 ~12月	へいせい ねん がつ がつ 平成 11年 11月 ~1月
ちょうさたいしやうしや 調査対象者	みえけん みる 3,000人 三重県民 3,000人	みえけん ざいじゆう がいくせきじゆうみる 三重県に在住する外国籍住民 2,000人
かどうしやうすう けいこう かどうりつ 回答者数(有効回答率)	972人 (32.4%)	468人 (23.4%)
ちょうさほほう 調査方法	ゆうそうほう 郵送法	ゆうそうほうおよ はいふ ゆうそうかもしゆうほう 郵送法及び配布・郵送回収法

かいとうしや 回答者の こくせき 国籍

こくせき・ちいき 国籍・地域	けんすう 件数	(%)
ブラジル	244	52.1
ちゆうごく たいわん 中国、台湾	54	11.5
べいごく 米国	40	8.5
おにこく 英国	21	4.5
フィリピン	19	4.1
ペルー	15	3.2
カナダ	15	3.2
オーストラリア	10	2.1
タイ	6	1.3
ニュージーランド	4	0.9

こくせき・ちいき 国籍・地域	けんすう 件数	(%)
ヴェトナム	3	0.6
バングラデシュ	3	0.6
インドネシア	2	0.4
ポリビア	2	0.4
アルジェリア	2	0.4
インド	2	0.4
イラン	2	0.4
アイルランド	2	0.4
パキスタン	2	0.4
かんこくまた ちょうせき 韓国又は朝鮮	1	0.2

こくせき・ちいき 国籍・地域	けんすう 件数	(%)
アルゼンチン	1	0.2
フランス	1	0.2
ドイツ	1	0.2
ガーナ	1	0.2
マレーシア	1	0.2
メキシコ	1	0.2
ネパール	1	0.2
スペイン	1	0.2
スリ・ランカ	1	0.2
ふめい 不明	10	2.1

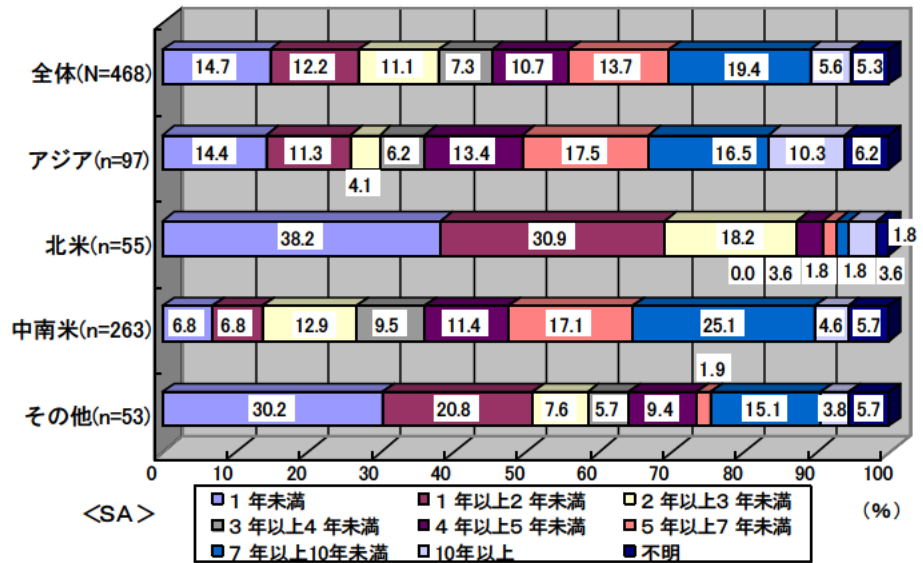
* ざいじゆうがいくじんせいかつじつたいちようさ
* 在住外国人生活実態調査

在住外国人の生活状況

生活年数

アンケート回答をみると、三重県での生活年数が10年未満の外国人が約9割を占めています。また、中南米出身者では、5年以上10年未満の方が約4割となっています。

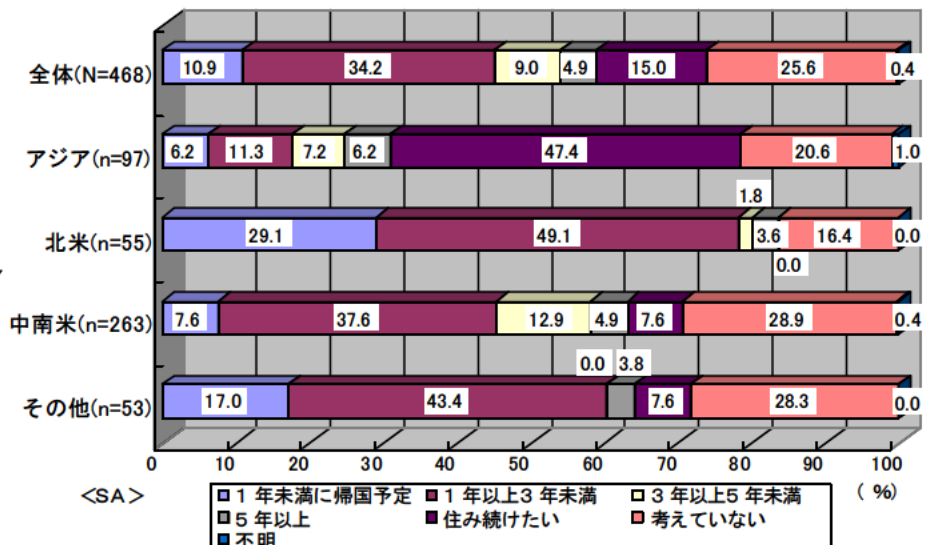
三重県で生活している外国人の生活年数



滞在予定

アンケート結果では、外国人全体では3年未満という方が半数近くとなっていますが、アジア地域出身者では約半数の方が住み続けたいと希望しています。

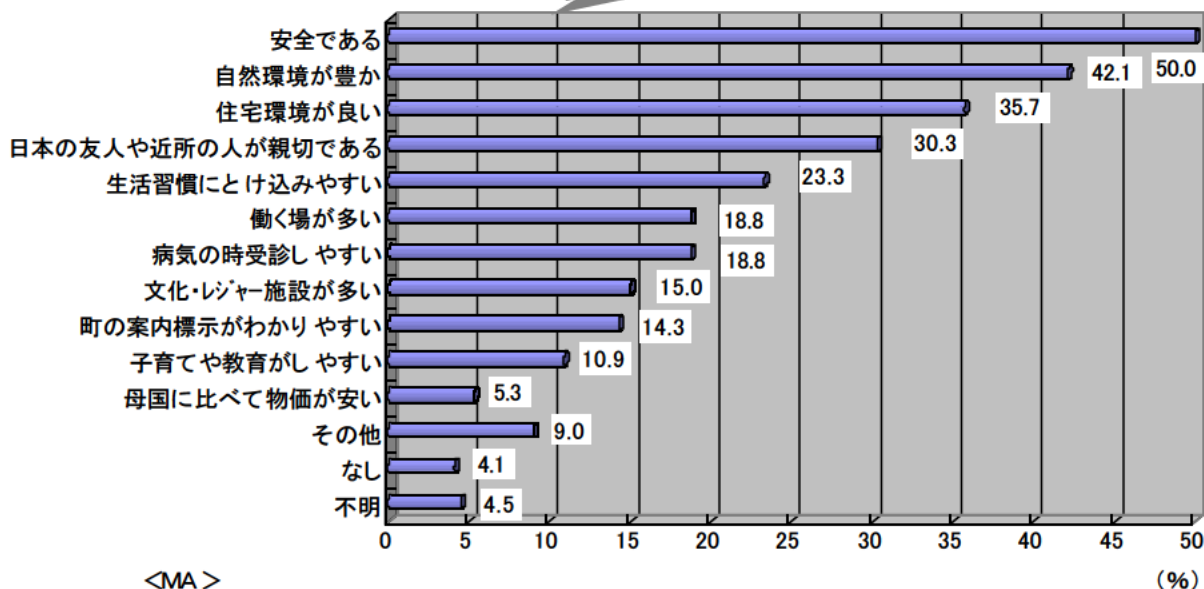
今後の日本での滞在年数



みえけんよ 三重県の良さ

三重県の一番気に入っていることとして、安全をあげた外国人が最も多く、また、豊かな自然環境についても約4割の方が評価しています。

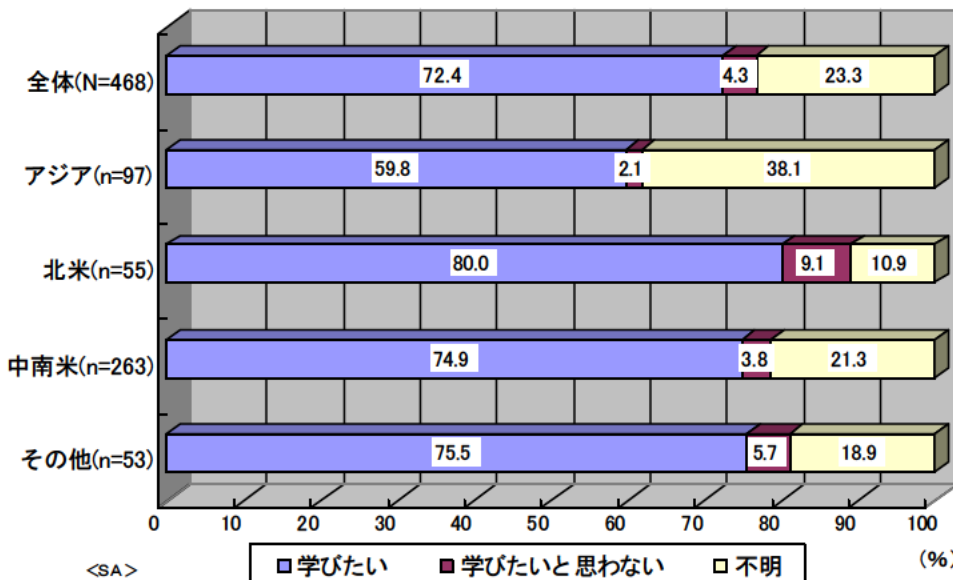
みえけん 三重県のどこが一番気に入りましたか



にほんご 日本語

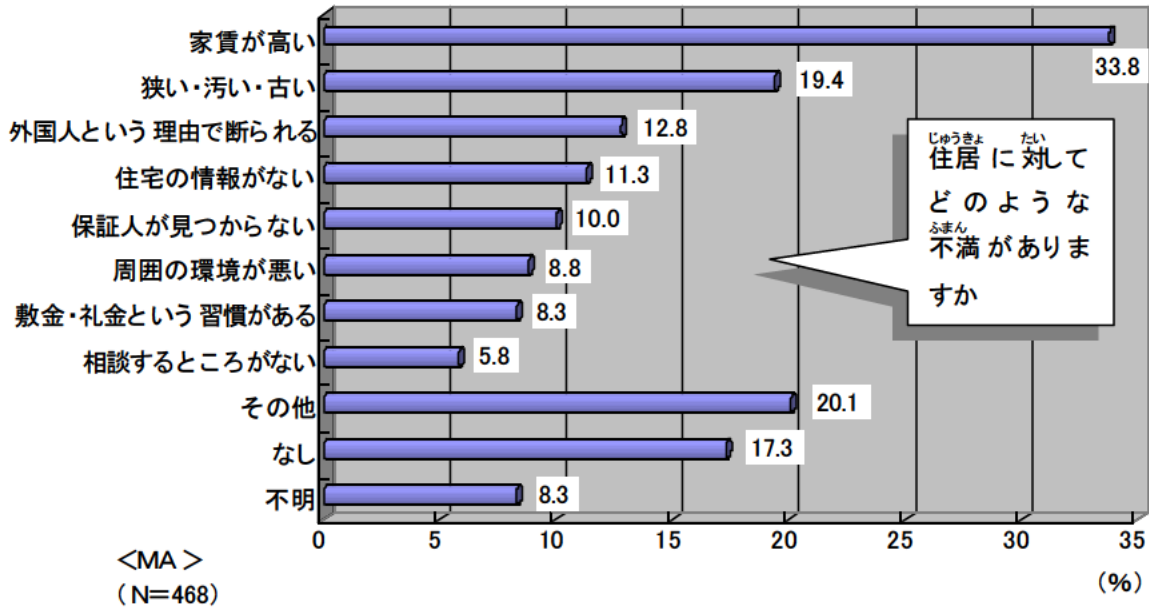
7割以上の外国人が日本語を学びたいとしており、日本語でのコミュニケーションが不十分な外国人が多いものとみられます。特に、アジア地域以外の出身者では、学びたいとする方が多くなっています。

こんご 今後、日本語を学びたいですか



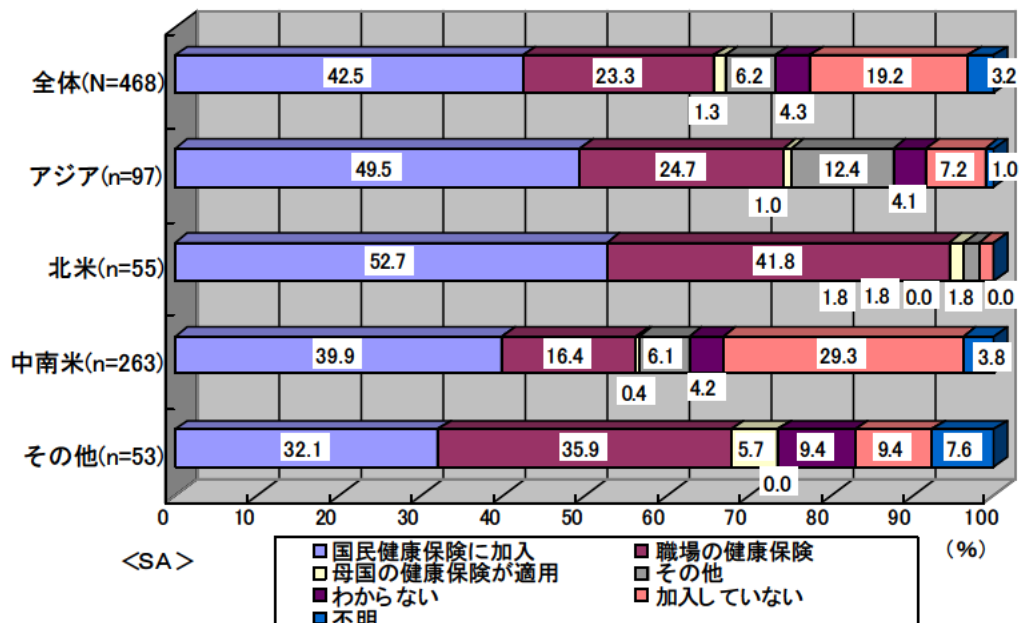
じゅうたく 住宅

住宅 に対する不満としては、家賃が高いことをあげる方が 33.8%と最も多くなっています。また、「外国人という理由で断られる」という不満もみられます。



ほけん いりょう 保険・医療

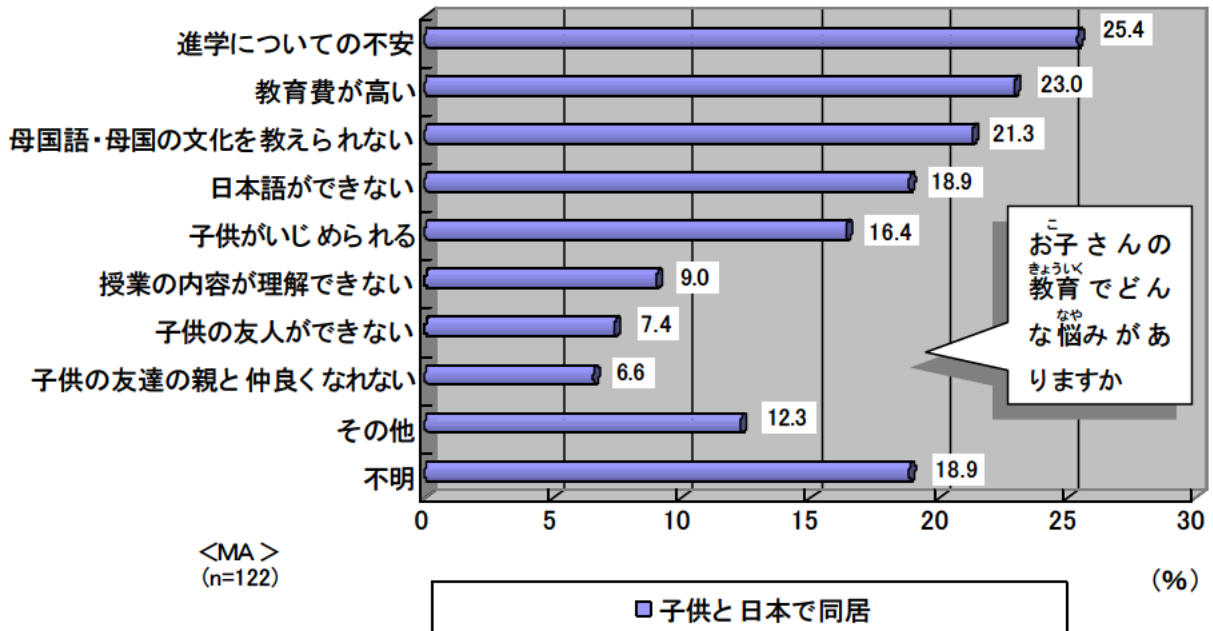
健康保険については、約4割の外国人が国民健康保険に加入しています。一方、約2割の方が加入しておらず、特に中南米出身者では約3割の方が加入していない状況にあります。



けんこう ほけん
健康保険に
かにゆう
加入してい
ますか

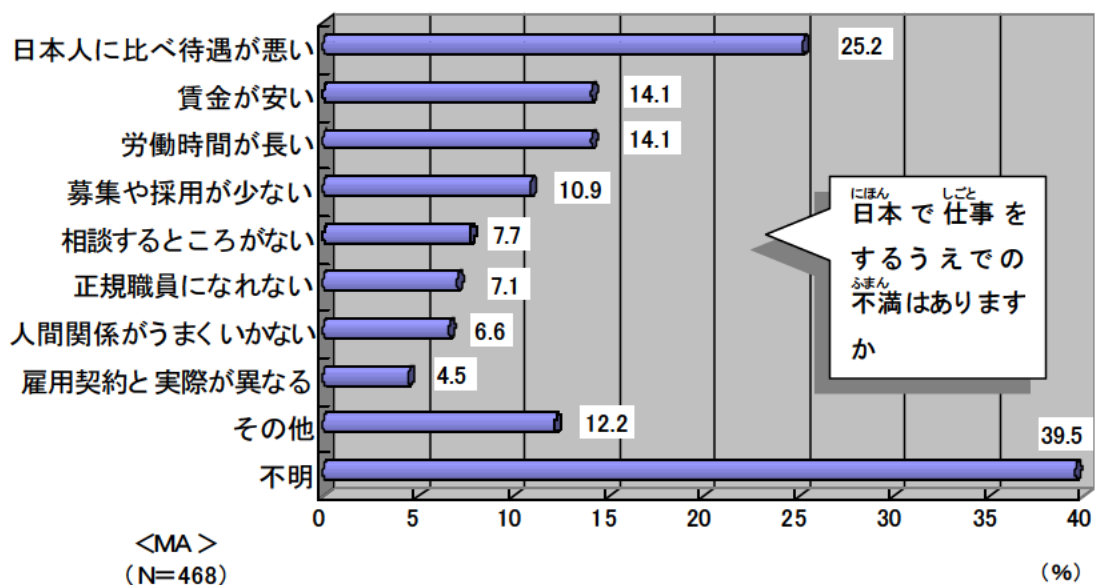
きょういく こそだ 教育・子育て

子どもの教育については、進学についての不安、高い教育費と並んで、「母国語・母国の文化が教えられない」という悩みをもつ方がみられます。



しごと 仕事

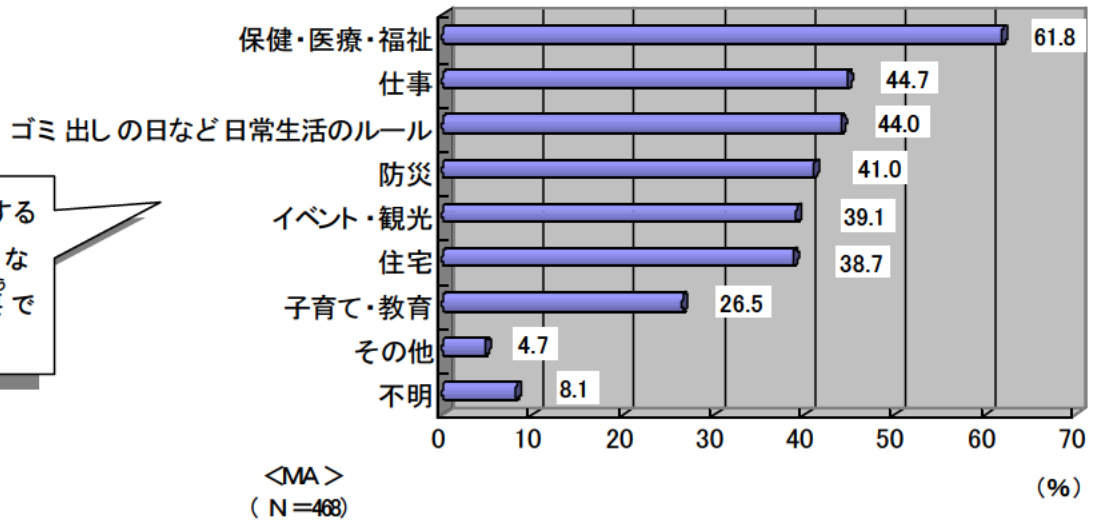
仕事をするうえでの不満としては、「日本人に比べて待遇が悪い」ことをあげる方が最も多く、4人に1人の外国人が指摘しています。



せいかつじょうほう 生活情報

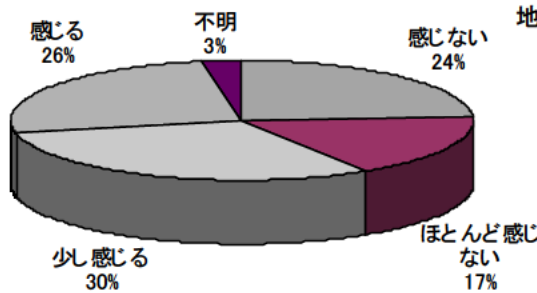
三重県で生活するうえで必要とする情報として、保健・医療・福祉の情報が61.8%と最も多く、次いで、仕事、日常生活のルール、防災などの事項に関する情報があげられています。

げんざい せいかつ
現在、生活する
のにどのような
じょうほう ひつよう
情報が必要で
すか



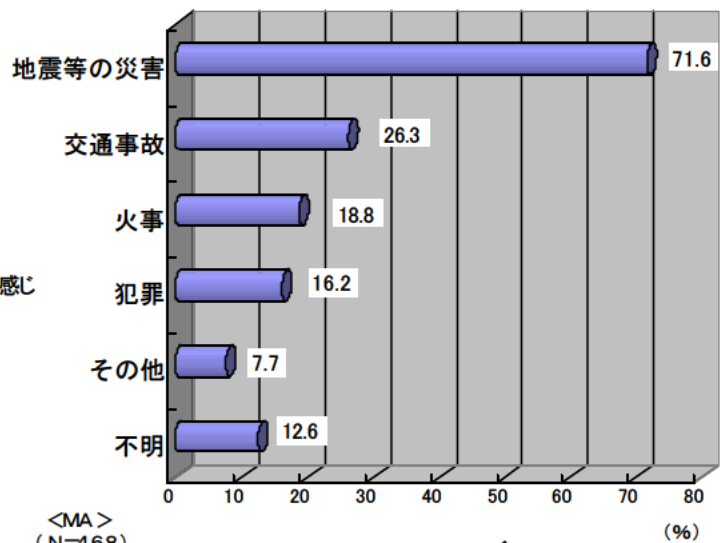
あんぜん たい ふあん 安全に対する不安

日本で生活する上で、安全に対して不安を感じている外国人は56%（「感じる」+「少し感じる」の合計）と、半数以上の方が不安を感じています。その内容としては、「地震等の災害」をあげる方が最も多くなっています。



<SA>
(N=468)

にほん せいかつじょう
日本の生活上の
あんぜん たい ふあん
安全に対する不安
かん
を感じますか。



ふあん
どんな不安がありますか

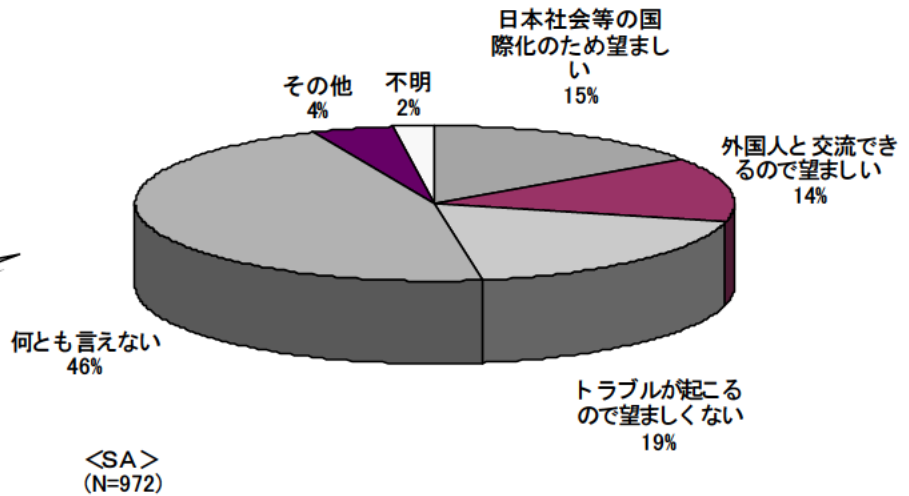
共生社会に関する状況と意識

国際化

外国人が増えることについて、約3割の県民が望ましいと考えている一方、約2割の県民はトラブルが起これるので望ましくないと考えており、意見が分かれています。

日本人
の意識

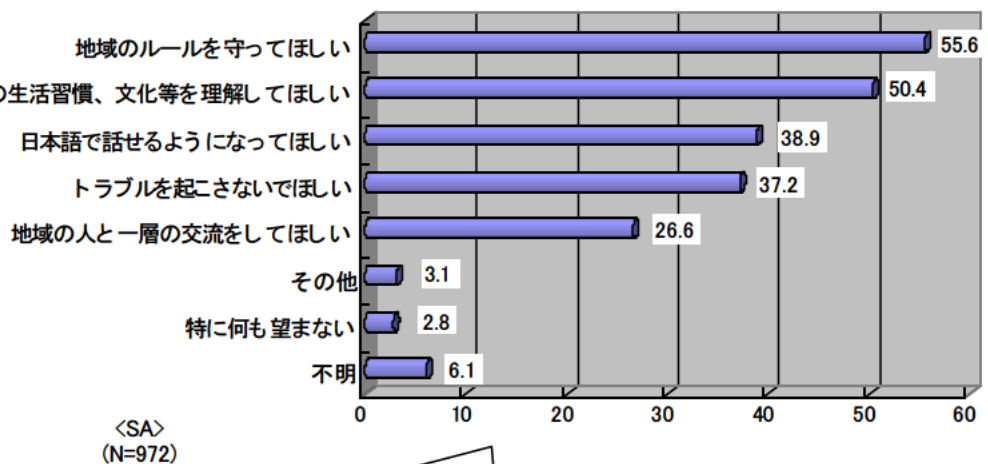
あなたは、日本社会で外国人が増えることについてどう思いますか



在住外国人に対する要望

在住外国人に対する要望としては、「地域のルールを守ってほしい」「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」という要望が多くなっています。

日本人
の意識



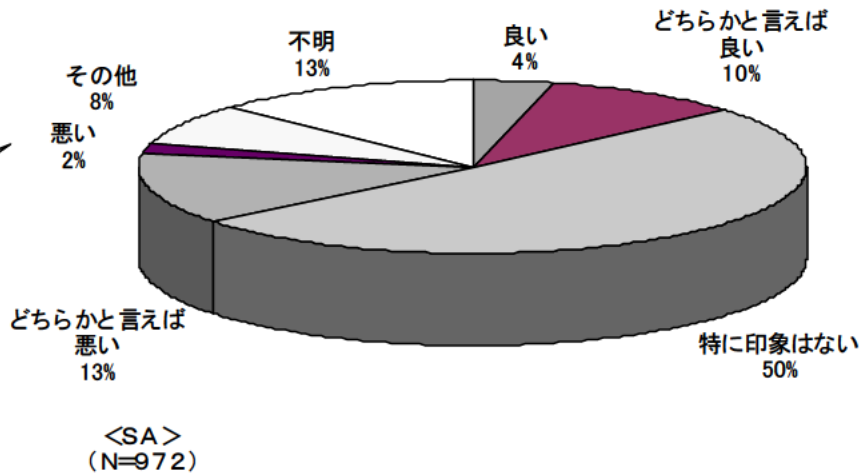
地域で在住外国人の方とともに暮らしやすい社会にするため、在住外国人の方にもどのようなことを望まれますか。

しゅうい ひと いんしょう 周囲の人への印象

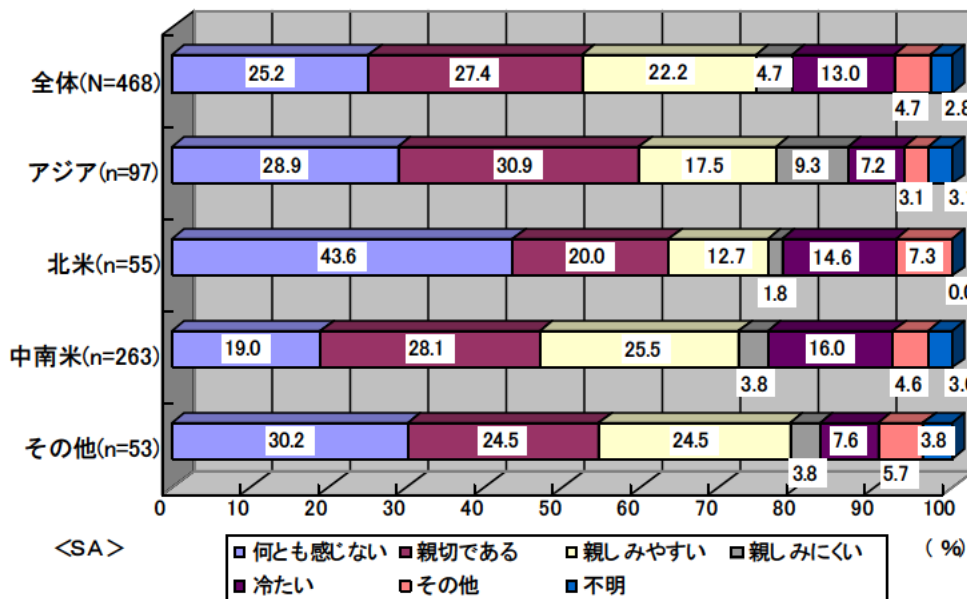
ざいじゅうがいこくじん たい いんしょう
在住外国人に対する印象としては、特に印象がないという県民が半数を占めており、また、好印象派（「良い」+「どちらかと言えば良い」）と悪印象派（「悪い」+「どちらかと言えば悪い」）がほぼ同程度となっています。

にほんじん
日本人
いしき
の意識

ちいき じちかい ざいじゅう
地域（自治会）の在住
がいこくじん かた たい
外国人の方に対して、
どのような印象をおもちですか



がいこくじん いんしょう しんせつ した いんしょう
外国人から見た印象は、「親切である」「親しみやすい」といったよい印象をもつ外国人が多くなっています。



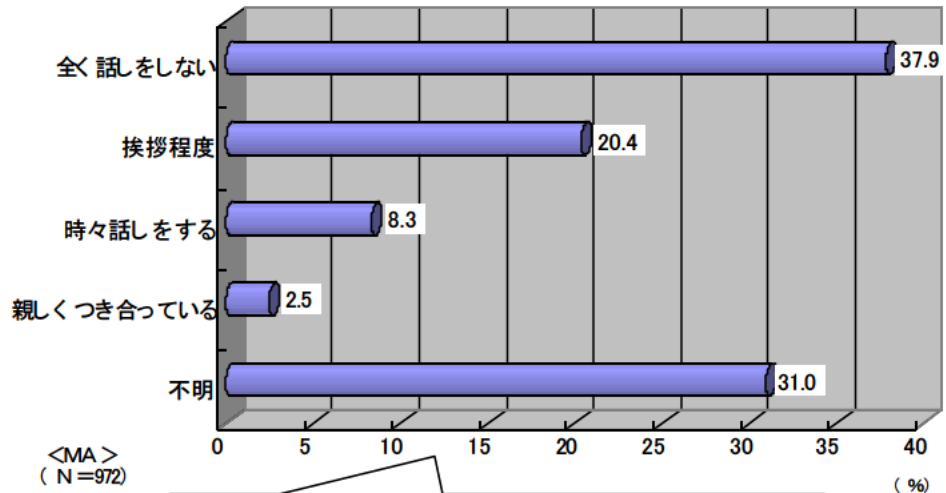
がいこくじん
外国人
いしき
の意識

す ひとびと かん
あなたのまわりに住んでいる人々について、どのように感じますか

交流状況

まわりに外国人がいない県民を含めて、全く話をしないという人は37.9%と最も多くなっています。また、約2割の県民は、外国人と挨拶程度の付き合いをしています。しかし、「親しくつき合っている」という県民は2.5%と少ない状況にあります。

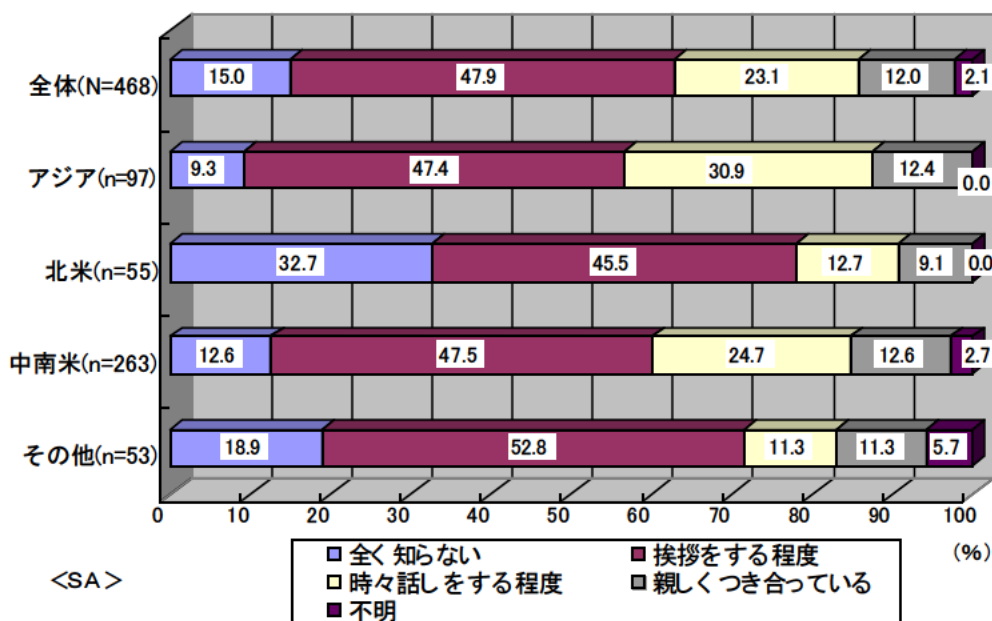
日本人
の状況



<MA>
(N=972)

あなたは、地域(自治会)に在住している外国人とどのような付き合いをしていますか

外国人についても挨拶をする程度の付き合いをしている外国人が約半数を占めており、「親しくつき合っている」という方は1割程度と少なくなっています。



<SA>

■ 全く知らない
■ 挨拶をする程度
■ 時々話しをする程度
■ 親しくつき合っている
■ 不明

外国人
の状況

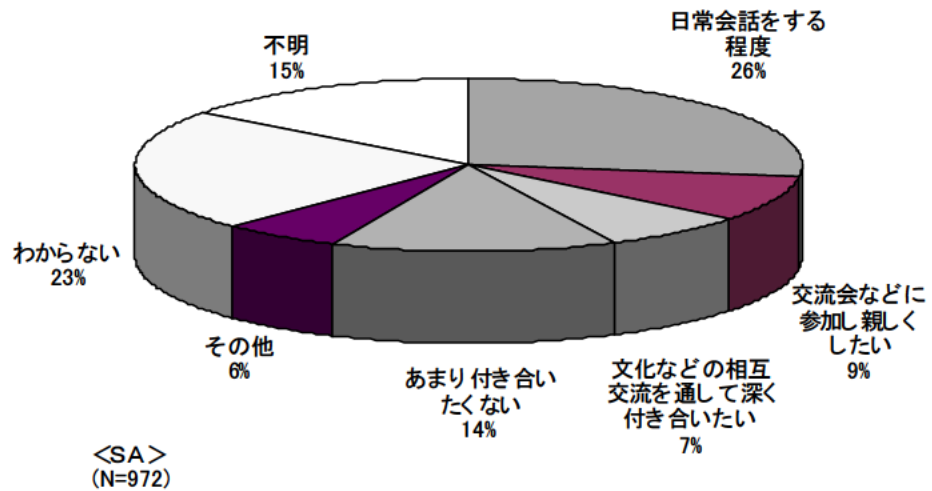
あなたはのまわりに住んでいる人とどのくらいつき合っていますか

こうりゆういこう 交流意向

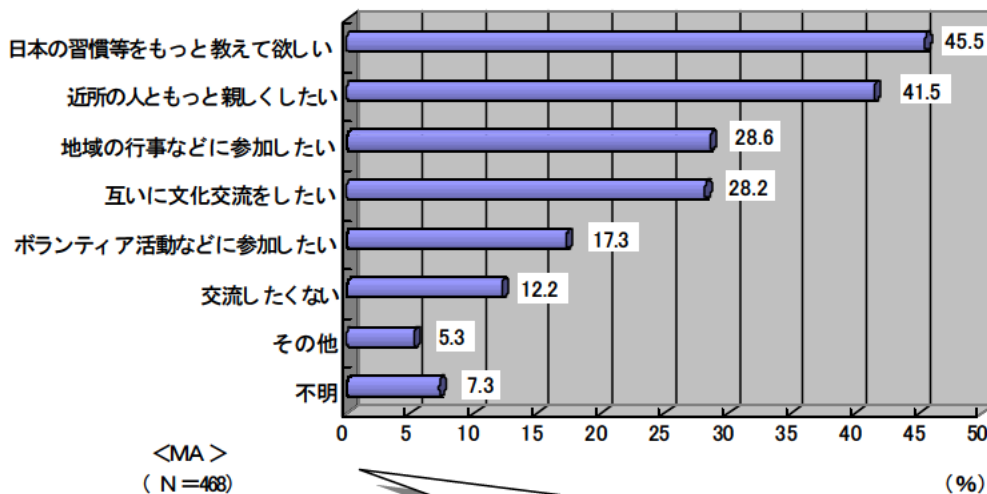
地域の外国人と日常会話をする程度の付き合いをしたいとする県民が比較的多くなっています。また、交流を深めたい（「交流会などに参加し親しくしたい」+「文化などの相互交流を通じて深く付き合いたい」とする方、あまりつき合いたくないとする方は共に15%程度となっています。

日本人
の意識

あなたは地域の外国人の方とどのような付き合いをしたいと思いますか



「日本の習慣等をもっと教えてほしい」「近所の人ともっと親しくしたい」など日本人との交流を志向する外国人が多く、「交流したくない」と考えている方は1割程度と少なくなっています。

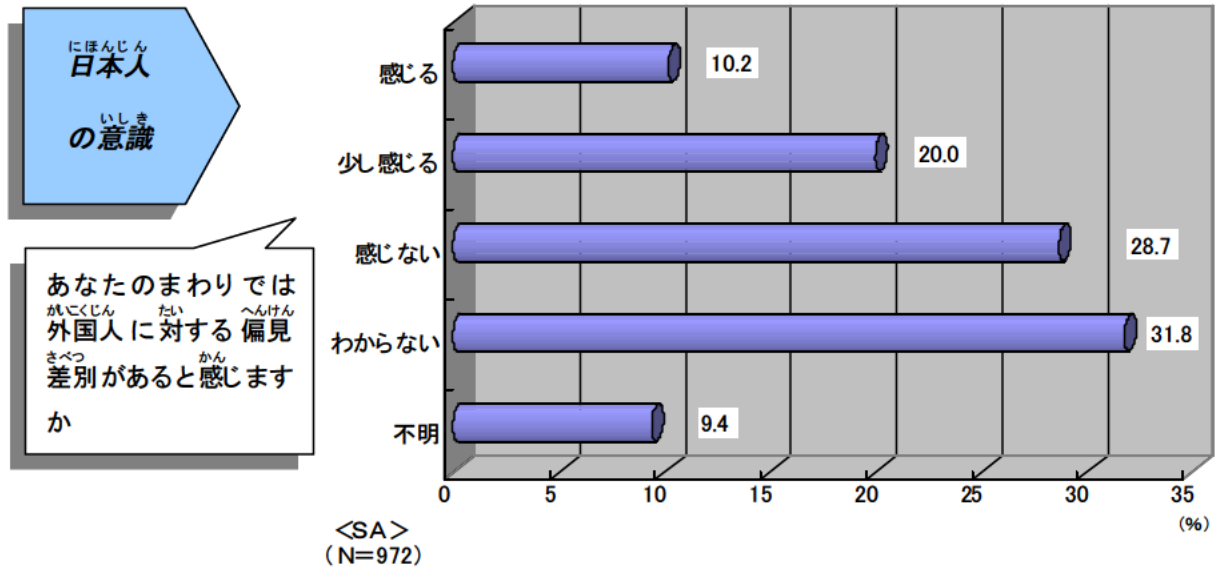


外国人
の意識

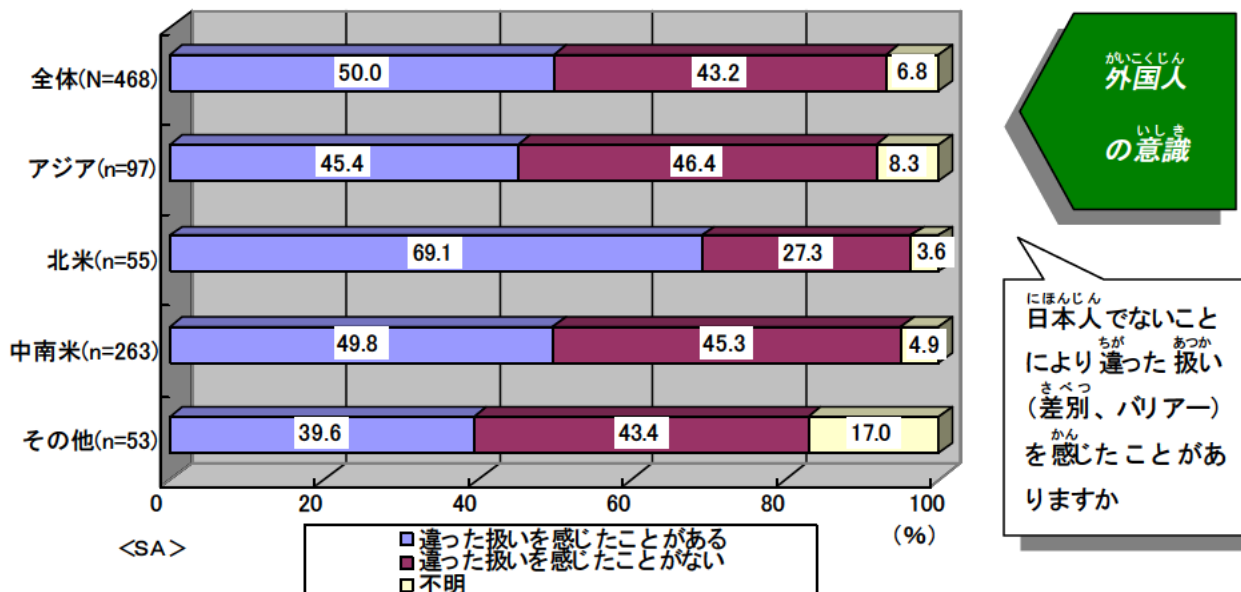
あなたのまわりに住んでいる日本人とどのような交流をしたいですか

へんけん さべつ 偏見・差別

地域では外国人に対する偏見差別があるという県民が約3割（「感じる」+「少し感じる」）となっており、「感じない」という県民よりやや多くなっています。

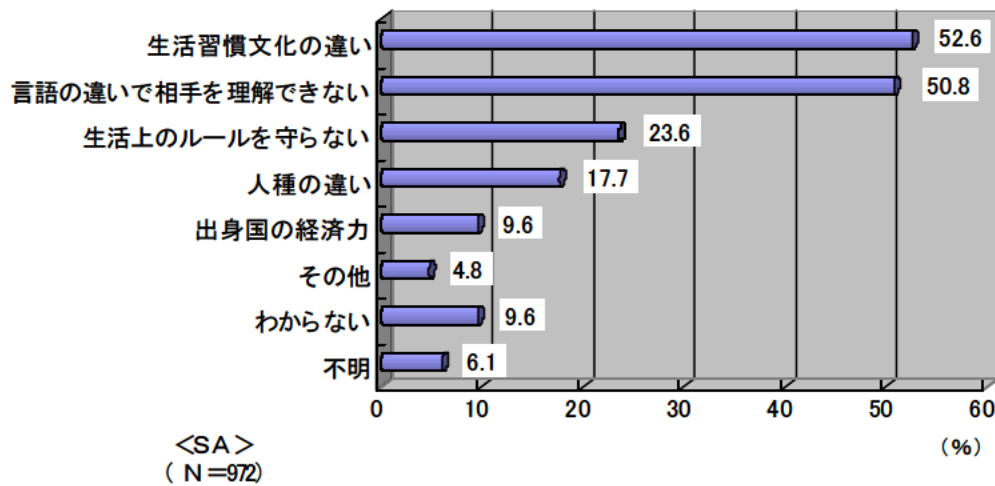


一方、外国人の意見では、日本人でないことにより違った扱い（差別、バリアー）を感じたことがあるとする外国人が5割となっており、特に北米出身者に多くみられます。



へんけん さべつ 偏見・差別

外国人に対する偏見・差別は、「生活習慣・文化の違い」「言語の違いにより相手方の理解ができない」ことが原因であると考えている県民が多くなっています。

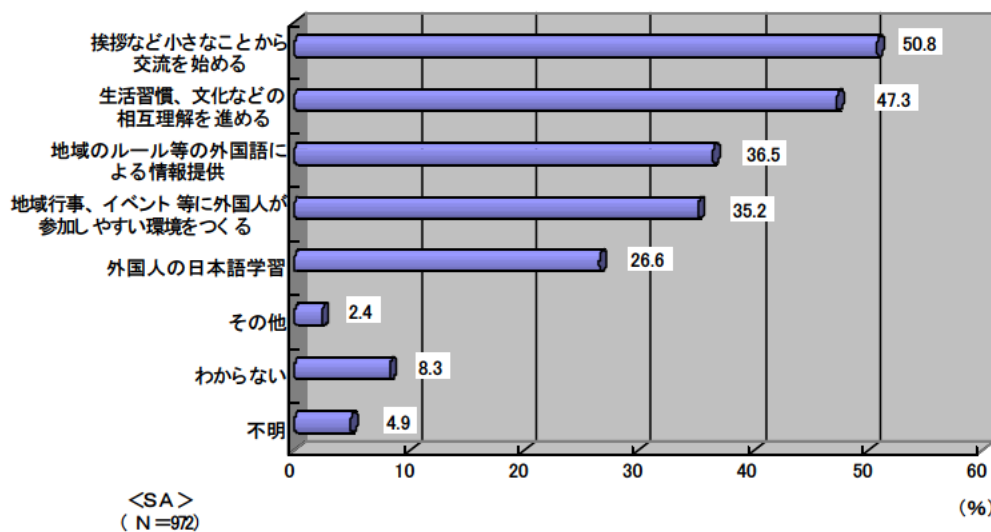


日本人の意識

外国人に対する偏見差別は何が原因だと思いますか

きょうせいしゃかい 共生社会

外国人と共生する地域づくりを行うにあたっては、「挨拶など小さなことから交流を始める」、「生活習慣・文化などの相互理解を進める」ことが重要であるとの意見が多くなっています。



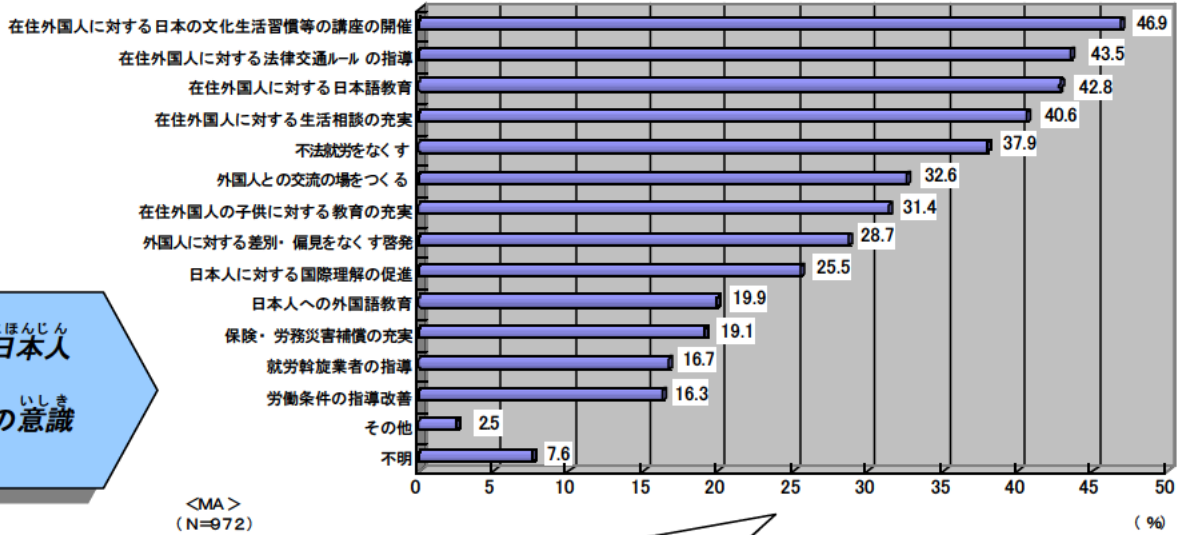
日本人の意識

今後、地域で在住外国人の方とともに暮らしやすい社会にするためには何が重要だと思いますか

共生社会構築のための施策

外国人と共生する社会を構築するために必要な施策として、「在住外国人に対する日本の文化、生活習慣等の講座の開催」など、在住外国人に対する施策が多くなっています。

にほんじん
日本人
いしき
意識

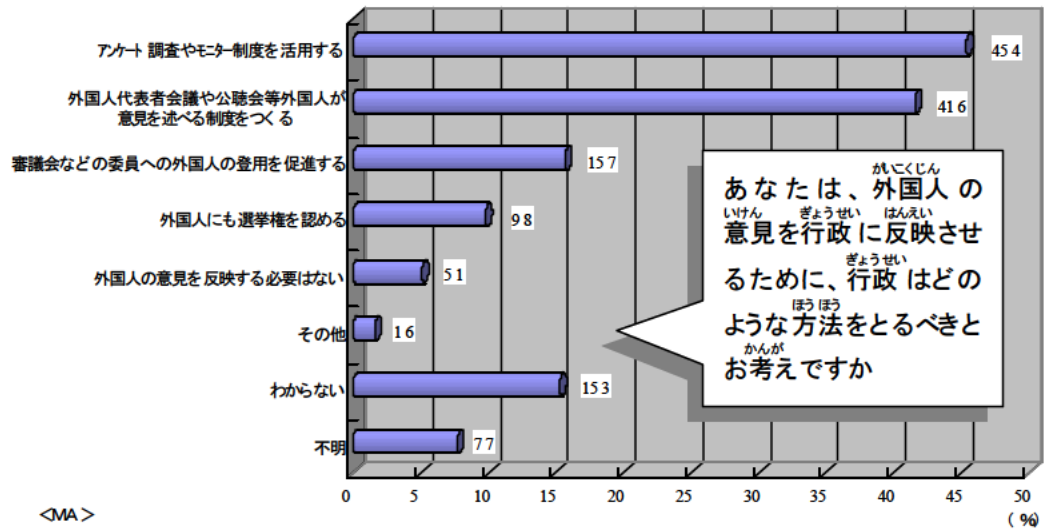


今後、共生社会構築のため、行政にどんな施策が必要と考えますか

外国人の意見反映

外国人の意見を行政に反映する方法として、「アンケート調査やモニター制度を活用する」という方法が支持されています。一方、「外国人の意見を反映する必要はない」という意見はごく少数にとどまっています。

にほんじん
日本人
いしき
意識



あなたは、外国人の意見を行政に反映させるために、行政はどのような方法をとるべきとお考えですか

けんみんいしきちようさ およ がいこくじんせいかつじつたいちようさ
県民意識調査及び外国人生活実態調査
概要版

— グローバル・コミュニティみえをめざして —
平成 12 年3月

みえけんせいかつぶこくさいか
三重県生活部国際課

つしこうめいちよう
津市広明町 13
でんわ
電話 059-224-2065

URL <http://www.pref.mie.jp>

本調査結果は、ホームページにて公開する予定です。